

日本



米国



ユーロ圏



カナダ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

債券・為替ウィークリーレポート (先進国・新興国)



ブラジル



南アフリカ



インドネシア



インド
















メキシコ



トルコ







中国

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		1/13 （1/6との比較） 今後の見通し （※4）	1/13 （1/6との比較） 今後の見通し （※5）	前年比 （※3） 景気の方向性 （※6）	先週末 方向性 （※7）		
日本 	A+	0.05% （▲0.01）		+1.1% 2016年3Q	-	30年国債入札は弱めの結果となる中、国債利回りは小幅低下。景気ウォッチャー調査では、先行き判断が6カ月ぶりに前月比で悪化。トランプ次期米大統領の記者会見は財政政策への具体的な言及が見られず。	機械受注などの発表を予定する中、トランプ次期米大統領の就任式や、米欧の金融政策などを受けた海外市場が注目される。20年国債入札などが予定されるが、引き続き国債利回りは大きく動きにくいと予想される。
	A1	 金利横ばい		 景気安定	-		
米国 	AA+	2.40% （▲0.02）	114.49円 （▲2.16%）	+1.7% 2016年3Q	0.75%	トランプ次期米大統領は記者会見で、雇用創出の意向を示した一方、減税やインフラ投資などの具体的な言及はしなかった。米次期政権の政策期待がやや後退する中、国債利回りは小幅低下。米ドルは対円で下落。	トランプ次期米大統領の就任式が予定され、その政策動向が注目される。CPIや鉱工業生産などの経済指標の発表や、イエレンFRB（米連邦準備制度理事会）議長の講演などが予定され、また企業決算が本格化する。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ユーロ圏 （*） 	AAA	0.34% （+0.04）	121.87円 （▲1.12%）	+1.7% 2016年3Q	0.00%	ユーロ圏の鉱工業生産が予想を上回る内容となる中、ドイツの国債利回りは上昇。ユーロは対円で下落。英国のメイ首相がEU（欧州連合）離脱に関して演説を行うとの観測も材料視された。	ECB（欧州中央銀行）理事会では政策維持が想定されるが、ドラギ総裁の会見は注目される。引き続き米次期政権の政策動向や、英国のEU離脱に関する演説を受けた海外市場動向に影響を受けるものと予想される。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示（*ユーロ圏についてはドイツの同格付を表示）。※2 10年国債利回りを表示（*ユーロ圏はドイツ国債利回り）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。※政策金利については、米国：フェデラルファンド金利、ユーロ：主要リファイナンス金利を表示、日本は金融政策の目標が無担保コール翌日物からマネタリーベースに変更されたため非表示。



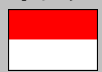

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		1/13 （1/6との比較）	1/13 （1/6との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.72% （▲0.02）	87.31円 （▲1.23%）	+1.3% 2016年3Q	0.50%	住宅着工件数は予想を上回る内容となり、景気回復への期待が強まる環境が継続。次期米大統領の政策への期待がやや後退する環境下、米国債の動きに連れて、国債利回りは小幅低下。カナダドルは対円で下落。	製造業売上高、CPIと小売売上高の発表を予定。引き続き景気回復度合いを探る環境で、中銀は政策金利を維持する見通し。トランプ次期米大統領の就任式が予定され、その政策動向を受けた海外市場が注目される。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気停滞	↘ 利下げ局面		
オーストラリア 	AAA	2.69% （+0.01）	85.87円 （+0.54%）	+1.8% 2016年3Q	1.50%	小売売上高は市場予想を下回る内容となった。米次期政権への政策期待がやや後退する中、国債利回りは小幅上昇。オーストラリアドルは対円で上昇。	市況価格回復などを背景とした景気回復が期待される中、雇用統計や消費者信頼感指数などの発表を予定。現行の金融政策維持が想定される中、米国の政策動向と中国の経済指標などを受けた海外市場が注目される。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	↘ 利下げ局面		
ニュージーランド 	AA+	3.12% （▲0.06）	81.65円 （+0.21%）	+3.5% 2016年3Q	1.75%	クレジットカード支出額が低調となった一方、住宅価格指数は高水準を維持するなど、経済指標はまちまち。商品価格指数の水準が上方修正されたこともあり、ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは低下。	住宅販売や製造業購買担当者指数などの発表を予定。隔週で実施される乳製品入札にて、前回に続き価格が下落した場合、ニュージーランドドルに相応の下落圧力が掛かる見込み。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	↘ 利下げ局面		
ノルウェー 	AAA	1.57% （▲0.04）	13.49円 （▲1.47%）	-0.9% 2016年3Q	0.50%	CPIの伸び率が市場予想に反して前回並みの水準にとどまる一方、住宅価格指数は高めの伸び率が継続。ユーロ安の影響もあり、ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは低下。	貿易収支などの発表が予定され、また中銀総裁が18日に講演を行う予定。当面緩やかな経済成長と緩やかな金融政策の継続が予想される中、金融市場動向は国内要因よりも原油価格動向の影響をより強く受ける見込み。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	→ 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1か月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。
















※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国 (地域)	格付 (※1)	債券 (※2)	為替 (対円)	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		1/13 (1/6との比較)	1/13 (1/6との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
ブラジル 	BB	10.77% (▲0.42)	35.58円 (▲2.01%)	-2.9% 2016年3Q	13.00%	中銀は金融政策決定会合で0.75%の利下げを実施し、政策金利を13.0%に引き下げ。利下げ幅が市場予想を上回ったことから、国債利回りは低下。レアルは対米ドルで上昇、対円では下落。	中銀は今後の追加緩和実施はインフレ動向やリスク要因次第としているが、これまでの利下げ姿勢に変化はない見込みで、国債利回りは低下しやすい状況。レアルは財政改革の進展が下支え材料となる見込み。
	Ba2	→ 金利横ばい	→	↗ 景気回復	↘ 利下げ局面		
南アフリカ 	BBB	8.05% (▲0.12)	8.47円 (▲0.33%)	+0.7% 2016年3Q	7.00%	製造業PMIは50を下回る結果となった一方、製造業生産はプラスに転換。資源価格全般の上昇を受けて、国債利回りは低下。ランドは対米ドルで上昇、対円では下落。	世界銀行は2017年の世界経済の見通しを発表し、同国は2016年より持ち直す見込み。しかし政治リスクが残存し、先行き不透明感から上値の重い展開を予想。インフレ統計や小売売上高などの発表を予定。
	Baa2	→ 金利横ばい	↘	↘ 景気鈍化	↗ 利上げ局面		
インドネシア 	BB+	7.29% (▲0.14)	0.86円 (▲1.94%)	+5.0% 2016年3Q	4.75%	外貨準備高は、米ドル建て国債の発行で大幅に増加。米国金利市場が落ち着きを見せる中、海外からの投資資金の流入が強まり、国債利回りは低下。市場の円高傾向を受けて、ルピアは対円で下落。	19日に金融政策決定会合を予定。インフレ率が中銀のインフレ目標の下限近辺を推移する中、追加利下げの有無が注目される。海外からの投資資金流入の期待から、ルピアは底堅い推移を予想。
	Baa3	↘ 金利低下	→	→ 景気安定	↘ 利下げ局面		
インド 	BBB-	6.45% (+0.00)	1.68円 (▲2.27%)	+7.3% 2016年3Q	6.25%	インフレ統計は市場予想を下回る上昇率。一方で自動車販売は大きく落ち込み、一部メディアでは高額紙幣廃止の影響を指摘。国債利回りはほぼ変わらず。インドルピーは対米ドル、対円ともに下落。	GST (物品・サービス税) に関する再審議の実施を予定。中央・地方政府間で合意形成ができず膠着状態が続いており、次期国会の開会予定との兼ね合いに注目。目立つイベントはなく、市場は動意の欠ける展開を予想。
	Baa3	→ 金利横ばい	→	↗ 景気回復	↘ 利下げ局面		

(出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成)

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。※2 国債利回りを表示 (ブラジル：4年、南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年)。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高(円安)を上向き、現地通貨安(円高)を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。※政策金利については、ブラジル：Selicレート、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

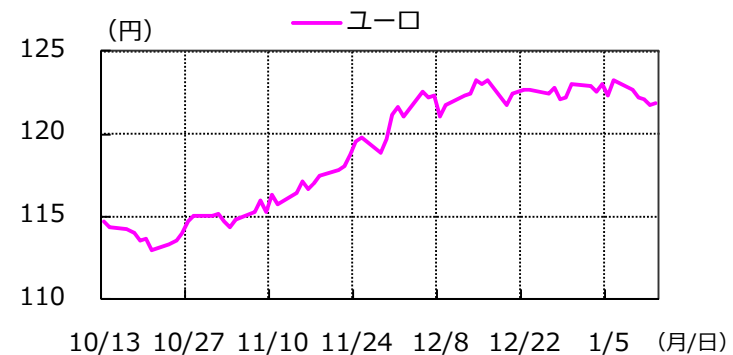
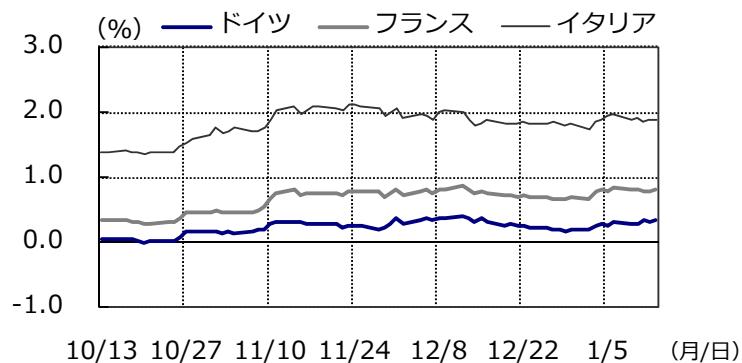
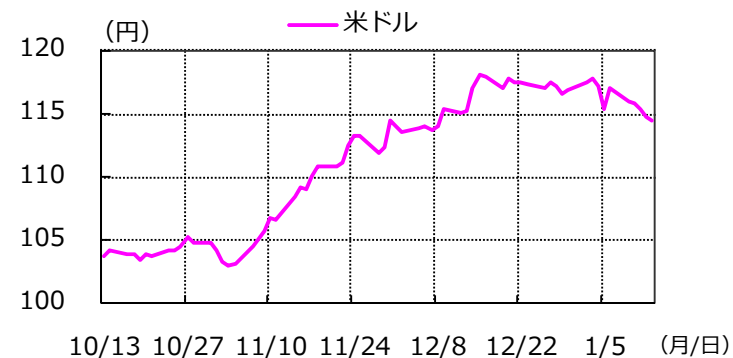
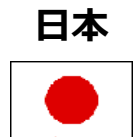
国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		1/13 （1/6との比較） 今後の見通し （※4）	1/13 （1/6との比較） 今後の見通し （※5）	前年比 （※3） 景気方向性 （※6）	先週末 方向性 （※7）		
メキシコ 	A	7.27% （▲0.13）	5.33円 （▲3.29%）	+2.0% 2016年3Q	5.75%	ペニャニエト大統領は通商政策をはじめ、米次期政権との協議に前向き。一方、次期米大統領は海外に拠点を移す企業に高い関税を課すと発言。国債利回りは低下。メキシコペソは対米ドル、対円ともに下落。	主要な経済指標の発表はないものの、トランプ次期米大統領の就任式が予定。米国の通商政策はメキシコへの影響が大きく、同氏の発言に注目。債券・為替市場は就任演説の内容に大きく左右される展開を予想。
	A3	 金利横ばい	 景気回復	 利上げ局面			
トルコ 	BB+	11.49% （+0.27）	31.03円 （▲3.79%）	-1.8% 2016年3Q	8.00%	同国議会では大統領権限強化の憲法改正案の審議を開始。引き続き政治体制に対する不透明感が重しとなり、国債利回りは上昇。リラは対米ドル、対円ともに下落。	失業率などの発表を予定。通貨安が続く中、24日の金融政策決定会合に注目。国内情勢や政治リスクが懸念されることから、債券・為替市場ともに引き続き上値の重い展開を予想。
	Ba1	 金利上昇	 景気安定	 利上げ局面			
中国 	AA-	3.94% （+0.02）	16.68円 （▲0.99%）	+6.7% 2016年3Q	4.35%	CPIの伸び率は鈍化するも、PPIは原材料上昇で大幅に加速。また、輸出統計が市場予想を大幅に下回ったことや市場の円高傾向を受けて、香港市場の人民元は対円で下落。国債利回りは小幅上昇。	GDP（国内総生産）の発表を予定。景気が改善しており、経済成長率は前年比で+6.5%超を維持できる見込み。1月末の春節（旧正月）を控え、香港市場の人民元の短期資金市場の需給が注目される。
	Aa3	 金利上昇	 景気鈍化	 据え置き局面			

（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。※2 国債利回りを表示（メキシコ：5年、トルコ：5年、中国（香港市場における中国国債の利回り）：10年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値（中国の為替は、香港市場における人民元の為替レート）を表示。※政策金利については、メキシコ：翌日物金利、トルコ：1週間物レポレート、中国：1年物貸出金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/10/13～2017/1/13



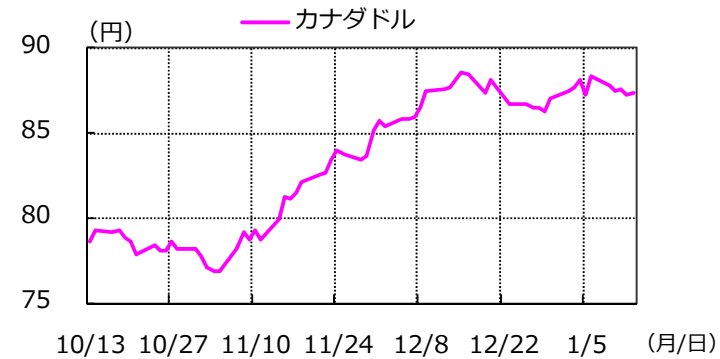
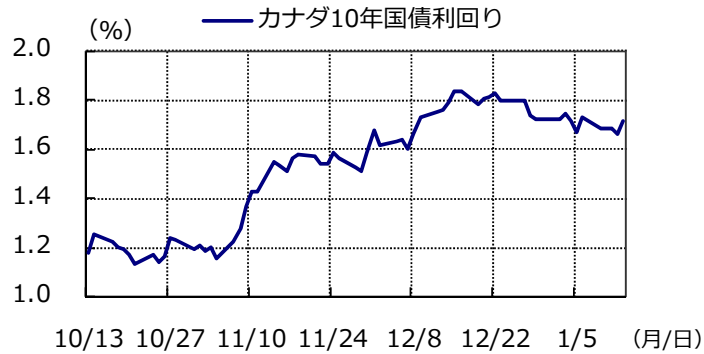
※10年国債利回りを表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

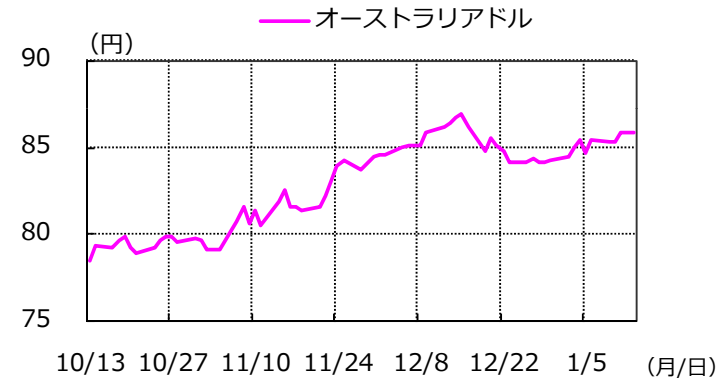
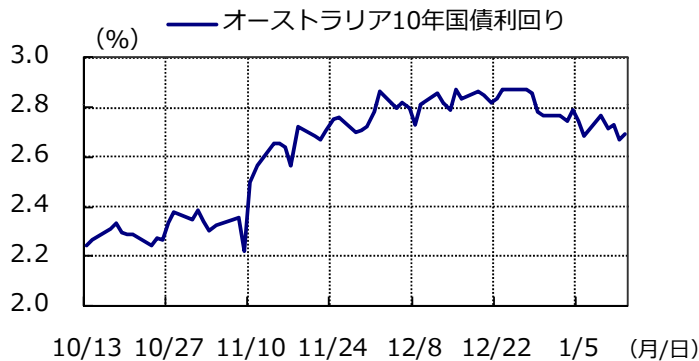
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/10/13～2017/1/13

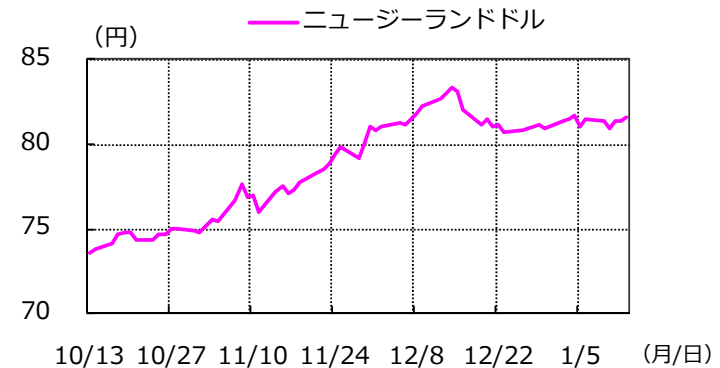
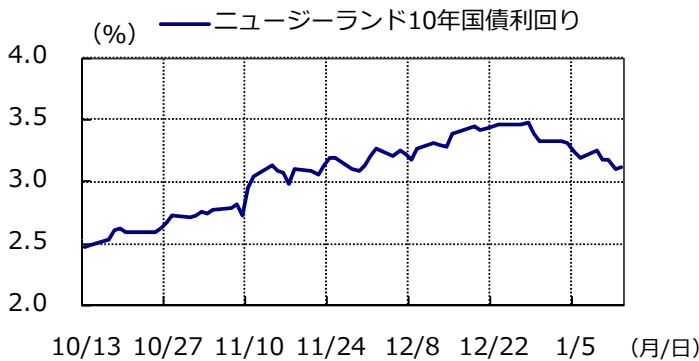
カナダ



オーストラリア



ニュージーランド

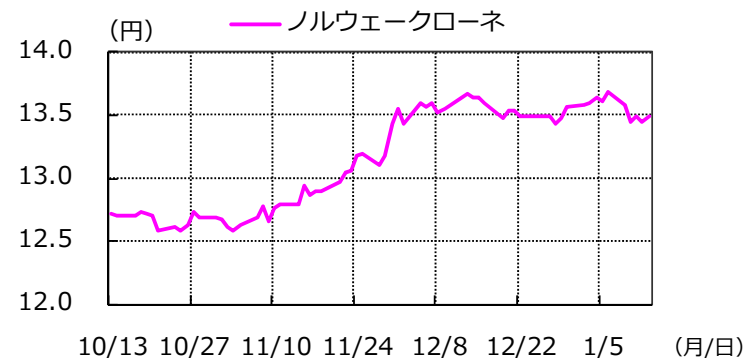
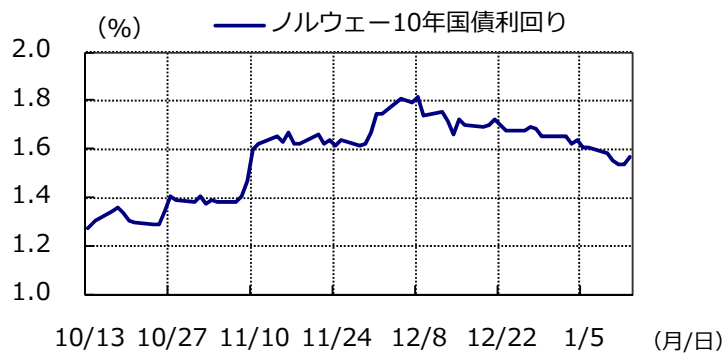


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

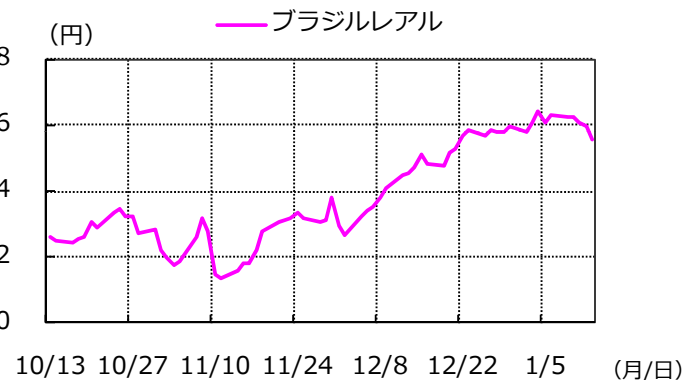
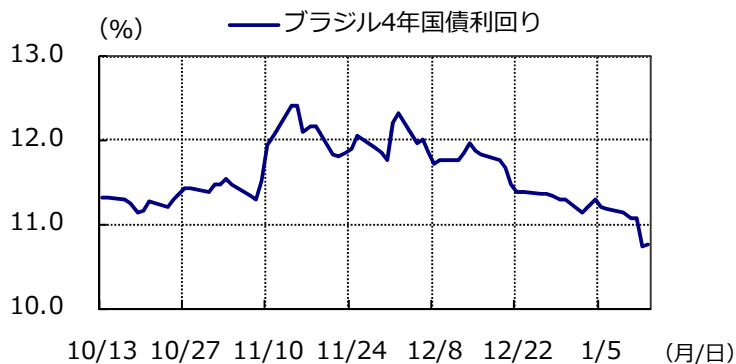
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/10/13～2017/1/13

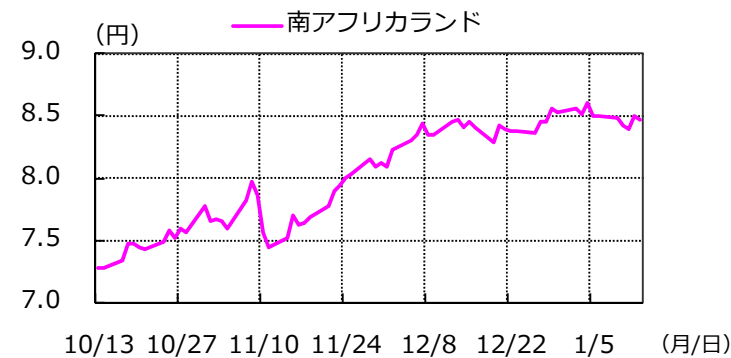
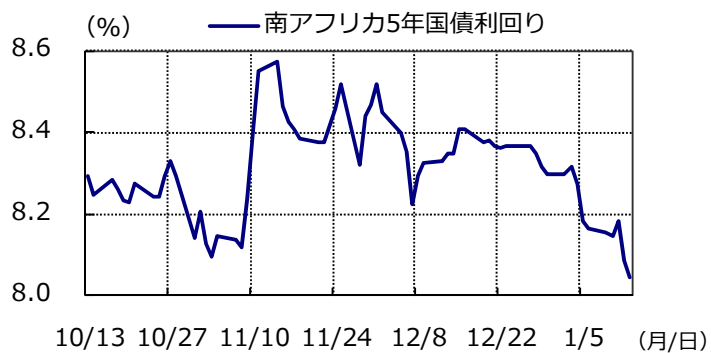
ノルウェー



ブラジル



南アフリカ

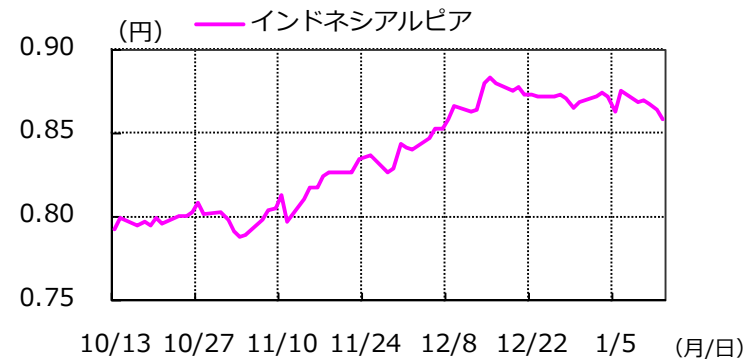
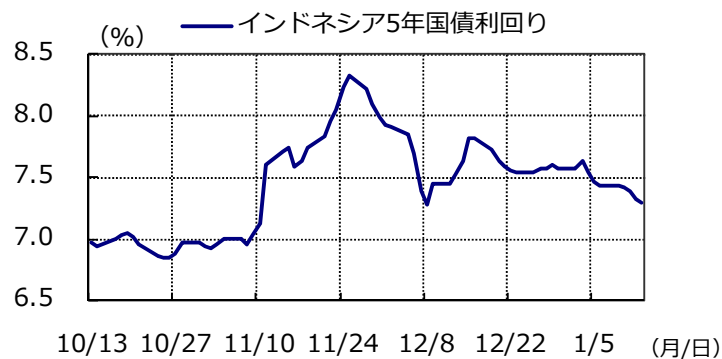


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

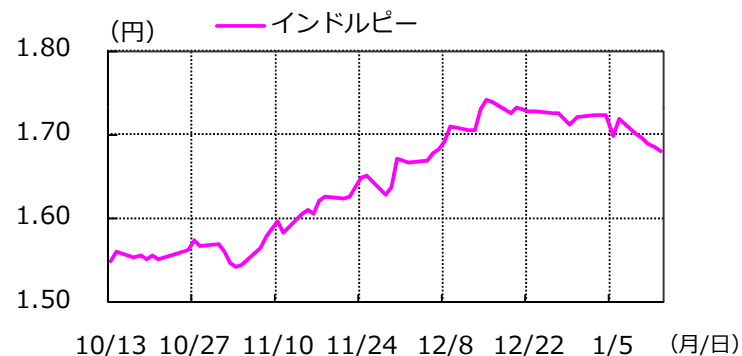
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/10/13～2017/1/13

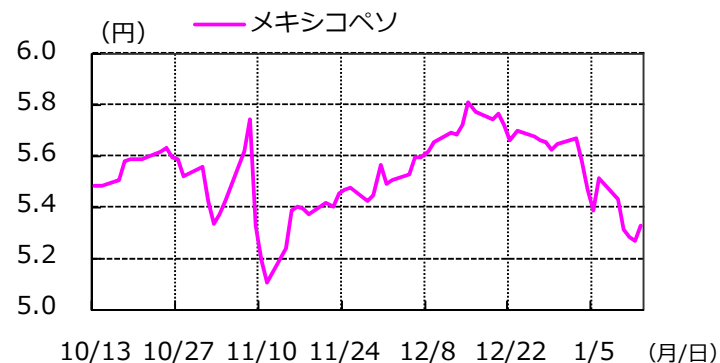
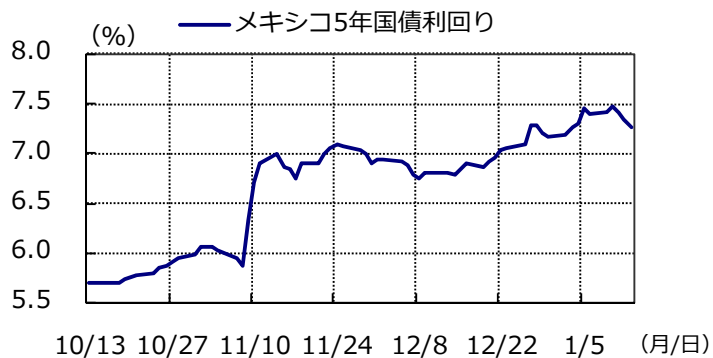
インドネシア



インド



メキシコ

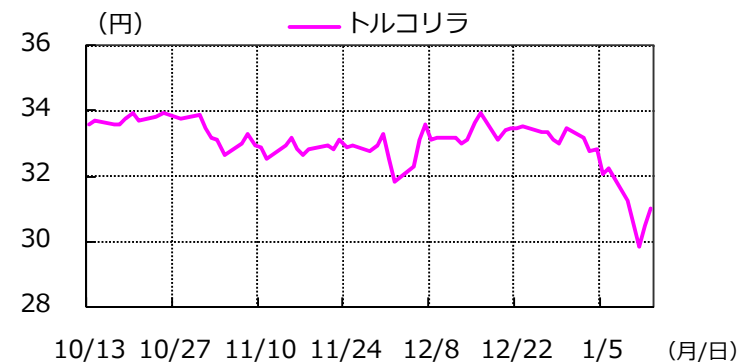


※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

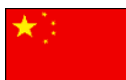
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/10/13～2017/1/13

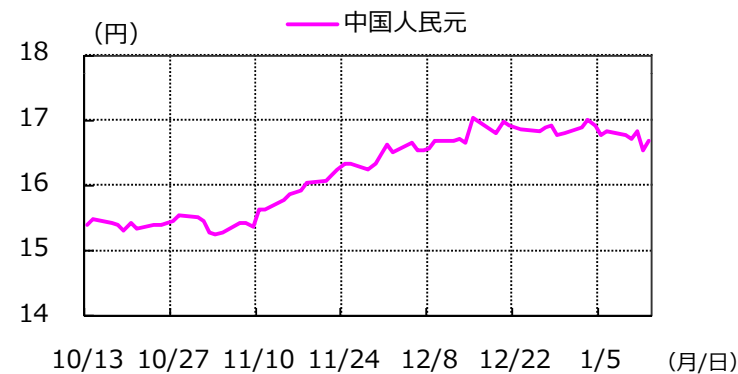
トルコ



中国



※香港市場における中国国債の利回りを表示。



※香港市場における人民元の為替レートを表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

【ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限4.104%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。